
ピータン

JIN.KURA

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ピータン

【Nコード】

N0743A

【作者名】

J I N ・ K U R A

【あらすじ】

ピータンの日々の成長を観察、ピータンを生んだ親とピータンの生活を親の視点で描いてます

誕生、1歳

今日、僕がくしゃみをしたら、クチから、なんか出てきました。

「クルッピっ、クルッピプー。」

ピータンが誕生しました。

見た目はまさに、トカゲ、です。きもいです。僕の体の中にこんなのが

居たと思うと、悲しい気持ちを皆に隠すため、

飯を炊きたい気持ちになりました。

なんで名前、ピータンなのか全然分かりません。

「アナコンダ」とか、そんなのが似合いそうな見た目です。

気持ち悪いので、「エイっ」と、ゴミ箱に捨てたら、

「ギャーオ、くらし、げ、てめえ、ギユアーオ」

とか言いながら、ゴミ箱から出てきちゃいました。

それはまさに、もったいないお化けの様でした。

しばらく育てて観ようと思いますが、僕は片親なので、この子が大人になったら、どう説明していいか分かりません。

しかも僕のクチから出る時、尻尾が歯に引っかかって、少しちぎれています。

心の底から「ピータンは気持ち悪いなあ」と思いました。

ちなみに歯に挟まった尻尾は、ツマヨウジで取って、

カレーの中に放り込みました。

ピータンが1才になりました。朝起きると、お尻あたりに違和感を感じました。

目をやると、ピータンが僕のお尻の下で潰れていました。
血が出てました。

まるで、処女の子を頂いた感じの血がシーツに付いてしまいました。
僕はシーツを洗濯機に入れ、ピータンの尻尾を箸でつまみ、ゴミ箱に捨てました。そしたら

「ギャーオ、く、らしげ、捨てるなビャーオオ」
とか言って、またゴミ箱から出てきちゃいました、

僕は死んでると思ったピータンが生きてて、本当に嫌な気分になりました。だって、ね？クチから出て来てるし、

とりあえず、ピンセットで消毒して、寝かせました。

内臓が見えてて、緑色の液体が流れていました。

かなり消毒が染みるらしく

「クルッピ、クッ！ー！ルッピン！ピン子！ブサイク！ピン子」
って言っていました。

なんだか、愛着が、わいてきました。

今日の夕食は昨日のピータンの尻尾入りのカレーでした。

2〜3歳

ピータン2才です。ピータンに手と足が生えました。手はグーしか出せない、ドラえもんタイプです。でも不思議、なぜか物がもてるんです。

すでにグーなのに、するめを持って、楽しんでいます。好きみたいです。するめ。

するめ欲しい時は

「ビャヴァホフ！す、る、め、メーダーカの学校はー、川のー中ー！」

みたいな意思表示をします。

えーと、足はですね、8本も生えました、
これ、なんの生き物なんですかね。

でも可愛いところあるんですよ。部屋にハエが飛んでいると、

「フギヤーぶち殺すぞ！ごらあ！ワレ」

みたいな発言をして、舌を2メートルくらい伸ばし、ハエを捕まえてくれるんです。

で、そのハエを、僕の寝ている顔に「ぺっ」と、落として行きます。ピータンの愛情表現、なんでしょうね、

あつ、そう言えば、この話しの主人公は、くらしげという名前です。

まあ、名前なんてどーでもいいですけど。

どうしましょう、3歳です、ピータン。

7・5・3の3です。なにかお祝いしてあげなきゃ、

今日、朝起きてピータンを見たら、びっくり。
目玉が3つになってます。（テンシンハン風）

両目はしっかり動いてるんですが、額のところに新しく出来た目玉、
動いてません。

飾りなのかなあ。

そして、昨日8本あった足が、5本に減っています。

不思議に思い、家族の部屋に行くと、家族で、たこ焼きをしてま
した。

え？、まさか、

僕は親を問いつめました。そしたら親が

「ピーピーうるさいわっ！！あんたの部屋にタコがいたから、足、
ハサミで切って

入れただけじゃないの！文句あるなら、家にもつと金入れなさい！
！そもそもあんたは」

つてな感じで朝から2時間くらい説教される始末、タコでは無い
よ、と突っ込む事も

出来ませんでした。

僕はピータンが可哀想に思い、部屋に戻りました。そしたらピータ
ンが

「ジャフテックー！く、らしげ、おい、く、らしげ！！旨かったか
？ビヤー！俺の足！」

凄く怒ってる感じです。よく見たら、3つ目の目玉から、涙が、
出ています。

僕は「ピータン、ごめんね。ピータンタン」x5

泣きながら謝りました。

ピータンが生まれてから、始めて悲しい思いになりました。

で、ピータンの怪我の手当てをしようと思えたら、もう、すでに、

11本になってました。

ピータンは恥ずかしそうに

「エヘ、クルッピプ、もう生えちゃった。ビューアーオ」

と、アイドルが脇毛の剃り残しの写真を取られ、記者会見で言い訳みたいな感じ

の台詞を吐きました。

4～5歳

もう4歳かあ、ピータン。 今日、あまりにうるさくて、起きたら、凄い事になってました。

猫とピータンが本気で喧嘩してます。

猫「にゃーオ！ニユあーオ！！」

ピータン「ドーパミン！！ビャアーオ！アドレナリン！！」

ピータンはまた、足が6本になってました。

部屋中にピータンのちぎれた足が散らばってます、僕は起きたばかりなので、タバコに火を付け、昨日寝る前に食べれなかった、ローソンのカツカレーを食べ始めました。

昨日、たこ焼きにしたピータンの足、美味かったので、カツカレーに3本だけ、入れて食べました。えへへ。

戦いは続いています。猫も、足を引きずってます、かなりの死闘です。

次の瞬間、恐ろしい光景を見ました。

猫がね、ネズミ食い殺すみたいに、ピータンを飲み込んだんなら話は分かるんですけど、ピータンが、

猫を飲み込もうとしてます、

「く、らしげビャーオ！入らない！猫大きくてクチに入らない！猫ひろし」

みたいな発言をしました。

猫「にゃーオ！にゃーオ！！」

僕は喧嘩を止めました。2匹共、なんか、イカ臭くて嫌でした。猫には、猫缶を開けてあげました。喧嘩してたのも忘れ、ガツガツ食ってました。

ピータンは、よく見たら、なんか体が15cmから、80センチくらいに大きくなってました。

明らかに、喧嘩の前にすでに、なにか飲み込んでいます、

僕、ウサギも飼ってるんですけど、小屋にウサギが居ませんでした、

本格的な中華、食べたい、じゃなくて、本格的にピータンを捨てようと思った。

ワオっ！早くも5歳。さらに、なんかね、ピータンが部屋から居なくなりました、

何度も僕らに足を喰われ、猫と、喧嘩、

僕は少し愛着も湧いていたので、ピータンを探しに行きました。はい。居ました。2秒で見つけました。

玄関にいました。

扉が開けられないらしく、困ってるみたいで

「ドドンキホーテ！開けろや、く、らしげ！初めての、お、つかい、行く、卵、買ってくる」

昨日テレビで観た、初めてのおつかいに影響されてるみたいです。可愛いところもあるんだなぁと思ったのも束の間、

首にぶら下げた財布を見たら、8万も入ってます、
問い詰めたら、昨日食ってしまった、僕のウサギ、美味かったら
しく、食用に5匹くらい、買いに行こうとしてました。
あはは、こいつ！。どこ捨てよっかなあ。

6～7歳

6歳だよ、ピータン。今、海です。ピータン捨てに来ました。海とかに捨てないと、戻って来ちゃうのね。

一時期は可愛いのかなあと、錯覚しちゃった事もありましたが、大きな間違いでした。今、1メートル20センチの大きさに成長しますわ、

車で遠くの海まで、来たんですが、高速道路のパーキングに8回も止まらされました。各地で名産品買い込んでいます、トカゲのくせに。

しかも、なんかずっと車の中で俺の肩に手を置いて、「うん、うん」とうなずいています。

いや、なにを理解してるんでしょうか？

トランスが好きらしく、車の中、ずっとトランスが掛かってます。

そして海につきました。何県が知らんけど、太平洋です。

着いた瞬間、「ビャー！！海　海　海はーひろーいなー！おおきなー！」

と、トランスのリズムで歌い、海まで走ってます（17本の足で）

僕は切ない気持ちでした。無邪気にはしゃいでいるピータンをここに置き去りにしようとしてるんです、

けど、もう、なんの動物かも分からんピータンを育てて行く事は限界でした、

「さよなら、ピータン」

僕は各地で買った名産品をそつと下ろし（まあ、俺の金で買ったんだけど）、
車を走らせると、ピータンはそれに気づき、僕を追いかけて来ます。
「く、らしげ、待ってよ！捨てないで！！」

泣きながら走って来ます、

けど、僕は止まりませんでした。さらにスピードを上げ（100キロ）ピータンを
突き放しました。本当にさよなら、ピータン。僕も涙が止まりませんでした、

30分後、悲しくて、ふと、窓の外に目をやると、ピータン、いました。

あの、なんなんですか、あなた、100キロですけど、ドラマじゃないんですけど、

僕は高速道路で150キロ出しました。さすがにいなくなりました。

あ、もう7歳です、ピータン。朝、テレビを観てたら、びっくり！ピータンが出ています。

ビルや、建物、ぶっ壊してます、見た感じ、3メートル以上身長ありそうです。

しかも「許さない！！ビュオー！！く、らしげ許さない！！殺す」って全国放送で言ってます、

あ、今、人を飲み込んだ、

もう、目玉3つある事とか関係ない勢いで、怪獣化してます、

しかも手に高速道路で買った名産品、まだもってます、

機動警察パトレイバーが家に来ました、

「くらしげさん、あなた、あれ捨てたでしょ、駄目ですよ。不法投棄は。

拾いにいってください。あれ」

警察は爆弾とか散々打って、どうしようも無くなって、僕に拾いに行けって言ってます。

これが、国家権力なんですネ、

爆弾と、ビルと、大型トラックの請求書、¥250000000をペラんつと置いていきました。

払えないっちゅーの。

行くしか無いみたいです、ピータン拾いに、

僕は日本国が用意したヘリコプターに乗せられました。

操縦してる人が言いました。

「あー、あれ、あんたのなんでしょ？困るよ本当、イザとなつたら、あんた、怪獣の

ところ、投げ捨てるから、宜しく」

僕は怖いわあ、国家権力、と思いながら、ポテトチップスを「バリバリ」

と食べました、だって俺、死ぬ確率80%ぐらいあるから、最後のポテト楽しまないと、ね。日本を代表するお菓子だし。

最後のポテトは「韓国風ブルコギ味」でした。

最終話

今、ヘリコプターの中です。

操縦士の方が変な装置を僕に手渡しました。

「あんだに、これ、渡します。この装置のボタン押すと、凄く爆発しますから、ね？」

ね？つて、爆発して、ピータン死ぬのはいいけど、間違いなく、俺も死ぬじゃん．．

そんなこんなで、ピータンがいる所に到着。

ガンガンと、建物壊してます。人も食べてます。怖くないもう。

そして僕は「グイッグイッ」と国家権力という圧力に押され、とうとうピータンの前

まで来ました、再会です．．

ピータンは僕を見るなり、ピータンは食いかけの人間を投げ捨て、「アジャパー！！く、らしげ、てめえ、捨てやがって！！殺したる！ああ殺したる！！」

と、僕を軽々と持ち上げ、食べようとします。

僕は確かにピータンを捨てたし、ピータンがそれで納得するなら仕方無いし、

僕が死んだ後、ピータンが日本を滅ぼしても、

「そんなもん、知った事か！！」

と思いました。覚悟決めました。ボタンは押さない、

10秒経過．．ん、？食わない、ピータンは僕は食い殺しません、しばらくして、

「ビャーオ、く、らしげ、迷惑掛けてごめんよ、これ、渡したかった、」

高速で買った名産品を僕に差し出す、

僕はびっくりした。ピータンは僕のために高速道路のお土産を買ってたんです（まあ、僕のお金でね、）

本当に感動しました、殺せないよ、僕にはピータンを、日本中を敵にまわしても、僕はボタンは押さない！

「ピータン！どこか無人島と一緒に暮らそう！！」

僕がそう言っていると、ピータンは今まで観た事ない最高の笑顔で

「ホンジャマカ、く、らしげ、ありがとう」

といい、次の瞬間、僕から装置を奪い、僕を遠くへ投げ捨てた、

そして、爆発

僕はしばらく動けなかった。ピータンは跡形も無く、消し飛んだ、居なくなった、

僕は泣いた、日本政府代表は

「よくやった！！君は日本国を救った英雄だ」

などと言って来た。僕は思いつきりそいつを殴った。

「見た目は怪獣でもなー！！心は凄く優しくかったんだ！！本当は悪い怪獣じゃないんだ！！」

お前らになにが分かる！？俺は全然、英雄なんかじゃなー！！」

もうなにを言ったかあんまり覚えてないけど、悲しくてしょうがなかった

僕は家に帰って来た。ピータンはもういない、

国は¥25000000を¥2000000でいいよと言って来た。

自己責任がどうたら、一人でイラクに行くなんて、馬鹿だ！

責任はお前にある！！とか訳分からん議論をして、僕は英雄だからと割引してくれた。

まあどのみち払わんけど、駐禁も払った事ないのに、

ピータンは幸せだったんでしょうか？

もつとなにかしてやれたんじゃないか？

後悔ばかりだ、

名産品を開けてみた、ふふ、僕が大嫌いな明太子と、わさびの柿の種だ、

僕は気づいた。きっとピータンは僕の心の中にあった、モヤモヤだったんだ、

それが、実物化したのがピータン。

だからピータンは、僕、そのものだったんだと思う。

（つて、思えないっての。美化しすぎー！あれ、怪獣だったじゃないん。）

だから日本滅ぼそうとしてたんだね。えへ。だって俺、ずっと日本滅んで欲しかったし

、ね。

ハックション！！あつ、、すいません、、くしゃみしちゃいました。

あ、、ピータンが誕生しました。

皆さんもくしゃみには気を付けてくださいね、ふふふ。

今度は、ピータンと、無人島で一緒に暮らそうと思います。さ
よなら。

END O

新ピータン1

私の名前はデメ子。22歳だよ。煎餅の工場で働いています。まあ、人生的には、負け組だと思います。

そんな前置きは置いて、くしゃみします。くしゃみしないと話し進まないのですね。

「ハックション」

クチからなんか出て来ました。トカゲ??なんでクチから??キモイ、私キモイー!!

っていうか、超気持ちいいー!!BY水泳の人!!あ、言ってみただけだよ。

とりあえず床でトカゲ?が、びちびちと動いています。びちびちつとね。海老?

うーん。どうしよう、私、普通の乙女なのに、部屋にトカゲいます。す。

やばいでしょ、

だってね、部屋に帰って来て、

「はぁーい、寂しかった??トカゲちゃん!LOVE、LOVE」
とか言ってたら、本当にやばいよね、

なのでゴミ箱に捨てました。

おしまい。

って終わったら話しにならないので、1度ゴミ箱に捨てたトカゲ？を取り出しました。

よく見ると、なんか可愛い顔してます。

芸能人のマチャミにそっくりです。

って嘘ですけど。いないよね、マチャミに似てるトカゲ、普通

あれ？？なにか喋ってる、

「ギャーオ、女は好きじゃねえ、俺は出っ歯じゃねー、ビャーオ」

なにこのトカゲ、なんで言葉喋れるの？？

不思議なので、ピータンのパート1読んでみたけど、

余計分かりませんでした。

でもパート1読んだので、このトカゲがどういう物か知りました。名前もピータンって言うんですね。

その内、巨大化するんですね。

私は深く物事を考えないタイプなので、ピータンを育ててみる事にしました。

そんな感じで、これから脇毛の処理するので今日はおしまい

剃ろうとしたら、なんか、ピータンが見てる気がします、

私は言いました

「ピータン！！私は一応乙女なんで、見ちゃ駄目だよ！！
って言っても分からないか！てへ」

「チツ、」

明らかにピータンから舌打ちが聞こえました。

まあ、昨日剃ったので、脇毛はありませんでしたけど。

新ピータン2

はい、どもども、デメ子だよ。今朝起きたらみそ汁とご飯が出来ていました。

え？まさかピータンが！？

ってトカゲに飯が作れるはずも無く、親が普通に作ってました！
きゃは。

そういえばピータンは！？

と思いました、とりあえず朝飯を食べちゃうぞつとみそ汁を飲むと

すると、

ぎゃー！入ってる！！入ってるから！！

豆腐がね、

あ、みんなピータンが入ってると思った？

そんな訳無いじゃん。ピータンはトカゲだよ！？

みそ汁に入ってる訳無いってのぉ！うふふ、

で、ご飯を食べようと思いました。

はい、ピータンがご飯ジャーに入っていました、

私はママを問いつめました。そしたらママは

「あんた昨日、炊き込みご飯食べたって言ってたじゃない！？
だからいろいろ炊き込んだのよ！海老とか」

海老じゃないから、トカゲですよ、ピータンは

あとご飯にはウナギと梅干しとチーズが炊き込まれてましたっ、

ああ、ピータンが死んじゃった、私が気を付けていればこんな事にならなかったのに、

とりあえずご飯を3杯ほど、もりもりと食べ、部屋に戻りました。

いました。ピータン。どうやらご飯に入ってたのは別のトカゲだったみたい。別のトカゲって、私の家はサファリパークかよっ

ピータンは普通にベットの下に潜り込んでました。

私がピータンの尻尾をつかみ、強引に引っ張り出すと、

「ギャーオー!! ビチャKDQリー!! なんかお前トカゲ臭いー!! 40代の親父の脇みたいな臭いするー!!」

うわ、凄い事言ってる、トカゲのくせに、私、結構ファザコンなのに、

生意気なので回ってる洗濯機に放り込んでやりました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0743a/>

ピータン

2010年10月28日08時52分発行